

主催：にいがたアートサーカス



新潟下町にゆかりが深い「古町鯛車」



県内を始め全国各地の鯛車を集め展示とワークショップ

忘れつつある郷土民芸「鯛車」にスポットをあて、郷土民芸の復活を願って2会場で企画した。県内の「鯛車」は新潟市の古町から各地に伝播し、巻、三条、村上、新発田、長岡に点在している。一部では、元祖・本家争いとなっているようであるが、鯛車その形状は地域によって微妙に違っており、それらを一堂に集めて展示・鑑賞した。第1会場の北陸ガスホールでは、古町鯛車を初めとする県内（村上、新発田、巻）と全国（東北各地～鹿児島）の鯛車を集めて展示しました。また、鯛車のペーパークラフト・モビールの制作を随時開催しました。第2会場の浅川園ギャラリーでは「鯛車・海」をテーマとした作品15点の展示と鯛車の販売を開催しました。制作体験は、親子や高齢者の方々の参加が多く、新潟日報に掲載された記事を読み来られた方も多い。発祥の歴史をPRし、ワークショップを通じて子供たちにも伝承できたと思います。

参加者からは「なつかしい、かわいらしい、昔おばあちゃんから『鯛車』を引いた話を聞いたことがある」「制作した鯛車は孫のお土産にする」「全国各地にも沢山あるんですね」「一度に沢山の鯛車が見られてうれしい」などの声がありました。また、高齢者施設の入居者から「鯛車」作りたいとの希望があり、介護職の方が制作できないかと研究に来られた方もおりました。古町通7番町「誕生祭」の日程に合わせ「水土」の先鞭をつける形となりましたが、相乗効果をあげ、地域活性化に貢献したと思います。全国各地の「鯛車」の出展交渉を通じて、高齢化で制作していない、あっても博物館所有で規制が厳しく、あきらめたケースもあり民芸品の衰退を感じました。したがって単独イベントで終えず継続する必要性を感じました。明治の初期から新潟町の人々が数年かけて発展させた鯛車を復活させ、地域の活性化につなげていきます。

- 7月6日(金)～7月8日(日) 鯛車のペーパークラフト・モビール制作（古町ガスホール(北陸ガス)）
- 7月6日(金)～7月16日(月・祝) 作品展示、鯛車の販売（浅川園ギャラリー）